

課題になっている行動 (気になる行動)

「裏がある」と言われて裏面を確認する



監修・文 水野敦之 絵: 宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 本人がイメージできる表現で伝えている。 ■ 必要な支援がない 字義通りの解釈する特性に配慮した説明になっていない <input type="checkbox"/> その他	■ 受容コミュニケーションの特性：字義通りの解釈をする ■ 関係理解（意味理解）・般化の困難さ：字義通りの解釈をする ■ 想像思考の困難さ	<input type="checkbox"/> 習慣になっているものがある <input type="checkbox"/> 自分流の気づき・考え方をもつ <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること
■ 行動前の状況※ 「裏がある」という表現での説明		■ 行動後の状況・結果※ 字義通り解釈する 理解できない 混乱する

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
	文章・図などを理解できる	

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？ ・先生・支援者間で本人にとってイメージできる表現を共通認識する。	本人の特性にあわせた支援は？ ・本人の字義通りの解釈する特性に配慮した言語指示で伝える。 ・情報は5W1Hで具体的に伝える。	本人に伝える・教える部分は？ ・「裏がある」の意味や使い方の説明を視覚的に説明する。

解説と支援の方向性について

自閉症の人は、字義通りの解釈をする特性があります。相手から言われた言葉をそのままに解釈します。相手の言葉の裏の意味を読み取ったり、比喩などの表現を理解したりすることが困難なことがあります。本人にとってイメージできる具体的に理解できるような表現での情報提供が大切です。